

## 刊行にあたって



昭和12年に、人口約4万3千人で誕生した船橋市は、令和2年3月に人口64万人を超え、現在も緩やかに増加しており、多くの皆様に選ばれる都市として成長を続けています。

これは、多くの市民の皆様が、長年にわたり、まちづくりにご尽力いただいた賜物であり、心から感謝申し上げます。

市民の皆様におかれましては、緊急事態宣言の発出や感染対策を意識した新しい生活様式など、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活に様々な制限がかかり困難な状況が続く中で、感染拡大防止の為に協力いただいていることに、改めて感謝申し上げます。

市では、船橋市医師会や市内医療機関、関係団体の皆様の御協力をいただきながら、PCR検査体制の強化やワクチン接種の推進等取り組んでまいりました。現在はワクチン接種も進み、希望する方に対してはおおむね接種が完了しておりますが、引き続き市民の皆様の生命と社会を守るため、医療提供体制の整備・充実等に向けた取り組みを進めてまいります。

今後はWithコロナ・アフターコロナの時代における新たな課題への対応として、本市がこれまで継続してきた「健康寿命日本一」に向けた取り組みを充実させるとともに、「人もまちも日本一元気な船橋」を目指し、地域包括ケアの推進や子育て支援など幅広い分野で、安心して健康に暮らせる街を実現するための施策を着実に進めてまいります。

この冊子は、市が行っている保健・医療・福祉の施策の状況を取りまとめたものです。また、今回は新型コロナウイルス感染症対策等で実施した内容を記載しております。多くの皆様に活用されますことを願うとともに、市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和3年12月

船橋市長

松戸 徹